



答弁中の平松教育長



今村 桂子 議員

併もなく、学校弁当給食開始の予定時期等（弁当配膳室設置工事実施計画・搬入業者の選定など）や弁当箱購入などの費用財源は。ランチルーム形式か身体的に生徒の成長を支援する弁当給食の早期実現を。

中学校に給食導入を

中学校弁当給食の実現は



田ノ上 真 議員

そこで、中学校給食に係る具体的な内容として、時期・方式・予定される負担の割合と金額について、また懸念される事項等についても併せて伺います。

問 思春期を迎え情緒的な問題を抱えやすいこの時期の食事には、細心の注意を払う必要があります。共働き世帯の急激な増加や食育基本法の公布等、大きく教育環境が変化する中、当町中学校には「弁当給食制」の実施が最適であるとの建議をうけ、平成19年の私の一般質問において「合併の状況を見ながら行っていく」との回答でした。現在、合

問 中学校の給食導入に関して質問します。以前にも中学校に給食を実施するか否かが論議されていますが、実現しないまま今に至っています。当時は、種々検討の上、見送らざるを得ない状況のあたり、諸条件が整いつつあるのか、導入に前向きな動きも聞かれています。時代の流れ・保護者の要望も考えますと、大いに期待を抱かせるものです。

27年度実施に向けて準備中

(一括答弁)

※選択制弁当給食を実施している宇美町の写真を、参考として掲載しています。

答 平松教育長 第2次中学校給食問題検討委員会において、平成18年11月に建議された、自家製弁当・弁当給食・パン給食の3種類から選択する弁当給食を、平成27年度から実施できるよう、現在準備に入っています。今後、実務的内容を検討し最終判断をしたいと思っています。



搬入の様子（宇美南中学校）

初期投資として、弁当搬入室・配膳室の整備などの改修工事に2校で5千万円、弁当箱や配膳台等備品の整備に1200万円、合計6200万円ほど必要です。また、開始後のランニングコストも2校で年間1千万円ほど必要と試算しています。保護者の負担金は1食当たり250円を想定しています。

答 中嶋町長 子どもたちへのアンケート調査、初期投資およびランニングコスト、請負業者に対する補償等、実施に若干問題点もありますが、もろもろの障害を取り除きながら平成27年度実施に向けて、動き出している状況です。



配膳室の様子（宇美南中学校）